

製品名: ベータアレスチン 2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87718

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:46 kDa; Observed MW:50 kDa

抗原情報

遺伝子名	Beta Arrestin 2
別名	ARB2; ARR2; BARR2
遺伝子 ID	409, 216869, 25388
SwissProt ID	P32121, Q91Y14, P29067
免疫原	ヒトβアレスチン 2 の合成ペプチド

背景

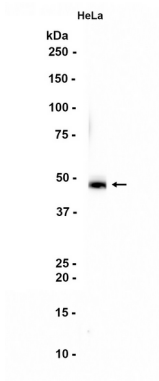
アレスチン/β-アレスチンタンパク質ファミリーのメンバーは、G タンパク質共役受容体のアゴニストによる脱感作に関与し、ホルモ

ン、神経伝達物質、感覚信号などの刺激に対する細胞応答を特異的に抑制すると考えられています。アレスチン $\beta 2$ は、アレスチン $\beta 1$ と同様に、in vitro で β アドレナリン受容体の機能を阻害することが示されています。アレスチン $\beta 2$ は中枢神経系で高発現しており、シナプス受容体の調節に関与している可能性があります。脳に加えて、アレスチン $\beta 2$ の cDNA は甲状腺からも単離されており、TSH 受容体のホルモン特異的脱感作にも関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2012年3月]

研究分野

-

画像データ



ベータアレスチン 2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。